

配信日：2024年10月11日

件名：メルマガ_第7号_生成AIを使いこなそう！でも著作権には気を付けて

本文：

皆様、こんにちは！

話題の生成AI、使ってみたくてウズウズしている方も多いのではないのでしょうか？

とっても便利ですが、実は著作権の落とし穴があるんです。そのため、以下の点に注意するとよいでしょう。

- 生成AIに入力するデータに著作権で保護されたコンテンツを使わない。
- 出力結果をそのまま使わないで、大幅に加工する

NG例：ミッキーマウスの画像を生成AIに入力して、そっくりな画像を作成する

OK例：生成AIで作成した画像を元に、色や形を大幅に修正してオリジナルのイラストを作成する

生成AIは、大量のデータをもとに新しいコンテンツを生み出します。

そのため、入力データに著作権で保護されたものを使うと、知らず知らずのうちに他人の権利を侵害してしまう可能性があるんです。

生成AIに入力するデータに、著作権で保護されたコンテンツが含まれていないか確認しましょう。

また、画像生成の場合は、たまたま既存の著作物と似てしまうこともあるので、人の目で確認しましょう。

出力結果をそのまま使うのではなく、自分自身で手を加えて、オリジナリティを出すように心がけましょう。

生成AIが出力したコンテンツの著作権は、現状では明確なルールが決まっていない場合が多く、複雑です。必要以上に怖がる必要はありません。非営利目的で利用する場合は特に、著作権侵害のリスクは低くなります。

ただし、注意すべき点はいくつかあるので、しっかりと確認してから活用しましょう。

*このメルマガは80%以上、生成AIによって作られています。

いかがでしたか？生成AIに指示する内容によって、様々な文章を生成できますので、ぜひ皆様も活用してみてください。

今後も最新の生成AIの情報、生成AIを活用した業務改善方法をお届けし続けますので、ご期待ください。本メールは広告や宣伝を目的とするものではなく参考情報です。活用については、ご自身での判断と責任でお願いいたします。

WG15メルマガ班一同

本メールは、モニタリング2.0の会員にご登録いただいている皆様にお届けしています。

メールの配信停止は、いつでも行うことができます。[こちら](#)からお手続きください。

メール配信停止のお手続きには、数日頂戴する場合がございます。

停止の設定後も一週間程度メールが配信される可能性がございますが、ご容赦のほどお願いいたします。